

## 令和5年度茨城県教育研修センター第2回外部評価委員会記録

日時	令和5年10月25日（水曜日） 午後1時30分から午後3時30分まで
場所	茨城県教育研修センター308 研修室
出席者	<p><b>【外部評価委員】</b></p> <p>植田 みどり 委員          沼田 安広 委員          鈴木 宏治 委員          大崎 弘美 委員          奥岡 智博 委員</p> <p><b>【茨城県教育研修センター】</b></p> <p>所長 秋本 光徳          次長 菅野 弘司          次長兼教職教育課長 坂上 有紀          企画管理課長 木村 正之          教科教育課長 海老澤 恭弘          情報教育課長 工藤 博幸          教育相談課長 関口 一治          特別支援教育課長 本城 知子          企画管理課指導主事 身内 卓也          企画管理課指導主事 桧山 龍樹</p>
次第	<p>1 開会</p> <p>2 所長あいさつ</p> <p>3 研修講座参観</p> <p>(1) 新規採用教員〔初任者〕研修講座（小学校） 第8日 IV期 情報分野          (2) 教育相談（初級） 第2日 A班          (3) 長期研修</p> <p>4 意見交換</p> <p>(1) 質疑応答          (2) 近況報告</p> <p>5 閉会</p>

## 1 開会

## 2 所長あいさつ

## 3 研修講座参観

- (1) 新規採用教員〔初任者〕研修講座（小学校） 第8日 IV期 情報分野
- (2) 教育相談（初級） 第2日 A班
- (3) 長期研修

## 4 意見交換

### (1) 質疑応答

研修講座参観等について、次のような質疑応答があった。

（○は委員、●は事務局を表す）

○教育相談研修で、午前中のロールプレイの録音を再生していたが、できれば相手と先生の双方のノンバーバルな表情も録画して投影すると効果的ではないか。

●事前に iPad の活用も検討したが、今回は録音とした。観察者の役割が非常に重要で、観察者を二人つけて、技法よりも基本的な態度をしっかりと見て、フィードバックを中心とすることとした。iPad の活用によって自分の表情を見るよさもあるので、次年度以降は検討したい。

○研修講座参観について事前に説明があり、参観の時間も確保されていたので、理解が深まった。長期研修は、遠方から通うのは大変なので、近隣の先生が集まる傾向があるのか。

●長期研修生は、県内全体から当センターでの研修を志望している。

○6か月の長期研修生が一人だが、3か月の長期研修が終了した後のモチベーションの維持について、どのように配慮するのか。

●担当課で手厚くサポートするとともに、節目となる検討会や発表会等に他課からも参与や主査を含む多くの職員が参加するなどして対応している。

○情報教育に関する環境の差異への対応や長期研修の成果の普及・発信等について、県のセンターと市町村教育委員会との関係はどのようになっているのか。

●本日はロイロノートを使用したが、研修の根幹の部分は他の授業支援アプリでも実現できる内容になっている。全市町村に広めたい内容は、当センターで作成した資料を提示し、普及を図っている。今後も各市町村の実情を把握し、希望研修等において各市町村の端末やアプリの状況に応じた研修内容を選択して参加できるように対応する。

●長期研修に関する市町村教育委員会との連携については、報告書等による研究成果の普及を図るとともに、研修生を研修等の協力者として活用したり市町村等の研修に積極的に活用いただけるよう依頼したりしている。

○長期研修生の端末持ち込みについて、セキュリティ対策はどのようになっているか。

●長期研修生は、ウイルス対策を施した端末を持ち込むことになっており、当センターが設置しているフリーWiFiを利用することができる。万が一、端末がウイルスに感染しても、完全にネットワークを分離しているので、サーバー等に影響が及ばないようにしている。

○長期研修の研究主題について、自分の考えを伝える、表現するなどのアウトプットに関する  
ことなどが多く見られるが、どのような経緯で設定されているのか。

●学習指導要領において、言語活動を通して学びを深める資質・能力を育成することが示され  
ており、全体として表現することなどが重んじられる現状がある。一方で、研修生がそれぞ  
れの勤務校の課題を踏まえて研究主題を設定している。

●児童生徒が自分の考えを適切に表現することが十分ではない現状もある。研修生によっては、  
自分の考えをわかりやすく相手にしっかりと伝え、相手の話もしっかりと受けながら、より  
創造的な学習活動を行うことについて課題として捉えている者もいる。

○長期研修の課題等について、民間等の委員が質問をすることは難しいので、代表者による 10  
分間程度のプレゼンで内容を伝えてもらいたい。

●参考にしたい。

## (2) 近況報告

所長や各課長からの現況・取組状況等に関する報告に関して、次のような質疑応答があった。

○定年延長を見据えた受講奨励の観点から、ICTや教育相談等の研修講座について、リアル  
で手が届きそうなネーミングの工夫や対象をベテランに絞った講座構築などができないか。

●定年延長に係る課題については、キャリアステージに応じた教員研修第4期のベテラン研修  
のその後をどのように構築するか、検討を始めたところである。また、各学校においてベテ  
ラン教員の目的意識・役割意識を高めるために、校長会等と連携して対応していきたい。

○特別支援学級担当者のICT活用のスキルアップについて、ニーズに応じた研修の充実を図  
ってほしい。(意見)

○県のセンターとして、シンクタンクの機能をどのように市町村に普及させていくのかを検討  
してほしい。また、研究開発機能を高めるために、大学や研究機関等との連携をより深めて  
ほしい。さらに、管理職による受講奨励や教員のニーズに応じた主体的な学びによるキャリ  
アアップを促進するために、受講履歴等のデータベース化を推進し、ワンストップで活用で  
きる環境を整備してほしい。(意見)

○第3回外部評価委員会に向けて、評価票の「2 施設設備の整備等について」の「○ 受講  
者の健康管理・安全管理体制、設備の維持管理、障害者への配慮、危機管理体制等」を評価  
するために、対応状況に関する具体的な情報を提供してほしい。(意見)

## 5 閉会